

# 避難する! とした時の状況は



## 避難時の状況は？

震災により自宅や親が職場を失うなどして避難をした家族もあれば、原発事故による避難指示だけではなく、子どもへの健康被害の不安から、区域外でも避難を選択した子育て世代がたくさんありました。当時小さかった子ほど、放射性物質の危険性について理解が難しく、「何で避難するんだろう」と思っていたという声もあります。

### 子ども・若者の声

- 親の転職が愛知に決まり、2011年7月に引っ越しをした。それまでの何ヶ月かは、目まぐるしく人生がぐらぐらした。  
(宮城県石巻市:当時小学6年生)
- 最初は母から「ひと月で帰れる」と言われていて、その後「一年で帰れる」と、帰れず延びていった。何で帰れないんだという気持ちが強くて、当時は「嘘をついてる」と親に怒っていた。小学6年生で避難して、こっちは知らない同級生も多いから、思い入れがない卒業式になった。  
(福島県いわき市:当時小学6年生)
- 原発がどういうものかはよくわからなかったけど、ペンダントみないなもの(ガラスバッジ:個人線量計)は常につけていたり、牛乳を飲まなかったりしていた。福島にいと安全でないと、両親が避難するため仕事や家を探して、家の下見に三重に行った時は旅行気分楽しかった。2011年10月に引っ越したけど、従兄弟や小学校の友だちはほとんど郡山に残っていた。  
(福島県郡山市:当時小学3年生、5年生)

# 311県外避難者について考えよう